

令和7年度 一関市立藤沢中学校 第3回学校運営支援協議会 会議録

1 会議名 令和7年度 一関市立藤沢中学校 第3回 学校運営支援協議会

2 開催日時 令和8年2月24日(火) 15:00~16:00

3 開催場所 一関市立藤沢中学校 1階 会議室

4 出席者

星義弘委員(会長)、櫻井博勝委員(副会長)、鈴木みえ委員、千葉英利子委員、
千田恵子委員、大川憲一委員(校長)、佐々木済通委員(副校長)

5 議題

(1) 学校運営に係る報告と評価について

(2) 来年度の学校経営方針について

(3) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴者 0人

8 議事内容等

(1) 学校運営に係る報告と評価について

今年度の学校運営について、大川委員(校長)より資料に基づき報告、説明を行った。以下はそれに対する質問・意見。

ア インターネットの利用について

星委員:大人、子ども関係なく、スマートフォンなどのメディアを手放せない人が多い。

学校だけでなく家庭と連携しながら取り組む必要性を感じる。

千田委員:親が忙しく、メディアを利用した子守になっている。

櫻井委員:すき間時間を有効利用し、メディアに接することは悪くはない。問題は家庭学習をするときに使用しない、居間9ルールを守ることが大切である。だが、メディアに関して子どもが親の言うことを聞かない場合が多いと思われ、逆に親の姿をみて同じようにメディアをいつまでも利用すると考えられる。

イ 情報モラルについて

櫻井委員:情報モラル等危険な部分の生徒への指導はどうなっているか。

千葉委員:スマートフォンの使い過ぎでスマホ脳になるとよく聞く。

佐々木委員:今年度は、千厩警察署生活安全課長を講師に招き、情報モラル講習会を実施した。保護者にも周知したが、参加者は少なかった。PTA講演会等を利用することも視野に保護者が参加できるように心がけたい。

ウ 書くことについて

鈴木委員:養護老人ホームで、90歳の方が歌を3番までしっかり歌うことがあった。その方に聞いたところ、若い頃に何回も書いて覚えたとの回答であった。最近ではメディアの利用が多く、書くという作業が少なくなっていると感じる。

星委員:最近では字を読めるが、書けない子どもが多いのではないか。

大川委員:学校では、1日の振り返りとして、デイリーライフを生徒が記入し、担任が毎日点検、返答をしている。

星委員:このことは、生徒と先生の信頼関係につながっていると考えられる。

エ キャリア教育について

櫻井委員：「将来に夢や目標がある」の肯定的回答が改善したのがよい。国際交流や東大生の科学体験学習など生徒に本物を見せることが大切である。

千田委員：光栄荘にベトナムからの外国人実習生が2名いる。その2人から話を聞く機会を設けてはどうか。多文化交流にもつながると考える。

星委員：一般の方と交流することや、国際交流は、生徒の成長につながると考える。

オ 藤沢町いいね大賞について

鈴木委員：先日、藤沢町のいいね大賞の授賞式があったが、中学生の欠席が多かった。

星委員：当日は、大会等で参加できない生徒が多く、参加者が少なくなってしまった。この大賞については、生徒がこの1年取り組んできたことを皆で称え、それによって自信に繋げてほしいと考え実施している。今回は、生徒が多く参加できるよう時期も調整したい。

(2) 来年度の学校経営方針について

来年度の学校経営方針及びまなびフェストについて、大川委員（校長）より資料に基づき説明。その後承認を頂いた。以下は関連して出された意見。

ア まなびフェストにおける、1日の運動習慣についての目標について

千葉委員：体力向上について気になった。今この時期に運動をしておかないと将来が大変心配である。

鈴木委員：学校に近い家庭でも、車での送迎が多い。帰りは徒歩で下校する生徒はよく見かける。

大川委員：少し離れた場所で生徒を降ろして歩かせるなど、他校の事例はあるが、今は声掛け事案や熊の出没があり、なかなか実施に至っていない。

(3) その他

ア 来年度の組織について

千田委員が主任児童委員を退任することを受け、次年度は別に委員を委嘱する方向性を確認。

イ 情報交換

特になし。

9 担当 一関市立藤沢中学校 副校長 佐々木 済通